

2016年7月6日

株式会社 Japan General Aviation Service

シーラス SR22 型が航空大学校の次期訓練機に決定

独立行政法人 航空大学校の次期訓練機が、弊社が代理店を務めるシーラス・エアクラフト社の「SR22」に決定いたしました。

これは、現行の訓練機であるビーチクラフト A36 型の後継機種として導入されるものです。

平成 29 年 5 月 31 日までに 10 機が納入される予定となっております。

弊社は、Cirrus Aircraft 社と一丸となり SR22 のスムーズな導入をサポートして参ります。

◆ シーラス・エアクラフト社 (Cirrus Aircraft)

1984 年創立、米国ミネソタ州ダルースに本社を構える航空機製造会社。日本国内においては、株式会社 Japan General Aviation Service が「CIRRUS JAPAN」として輸入販売の総代理店を務める。

SR20/SR22/SR22T の 3 機種を擁する SR シリーズは、趣味で操縦を楽しむ自家用機や、パイロットを養成する訓練機として世界中で好調なセールスを記録しており、2013 年・2014 年・2015 年の小型機販売機数では世界第 1 位*1 に輝いた。また、SR シリーズを基に開発された自家用単発ジェット機「VisionSF50」が間もなくデリバリー開始を予定している。 ※1 GAMA 『2015 General Aviation Statistical Databook & 2016 Industry Outlook』

◆ シーラス式 SR22 型

シーラス社独自のグラスコックピットシステムを搭載。高度で複雑なシステムを直感的に操作できるよう、ハード面では、人間工学に基づいたキーボードコントローラーを採用している。オートパイロットも最新型で、手動操縦中に速度等が危険な値になると自動的に姿勢を立て直してくれる自動リカバリー機能などを備えている。これらはエアライン機には当たり前前に搭載されている機能だが、小型機としては画期的なもので、初等訓練の段階から将来操縦する事業機と近い環境に身を置けるのは、シーラス SR シリーズならではの特徴。

また、墜落事故からの生還を可能にする緊急用パラシュートシステム「CAPS」^{キャップス}をはじめとする高度な安全機能も高く評価されている。

全幅：11.67 m 最大巡航速度：183 kt
全長：7.92 m 実用上昇限度：17,500 ft
全高：2.71 m 最大巡航距離：1,169 nm
有効最大搭載量：1,340 lb (608 kg)
乗員：2+3 名
エンジン：コンチネンタル IO-550-N 310HP



CIRRUS
AIRCRAFT





◆ 訓練機としての主な採用実績 (SR20 / SR22 / SR22T)

航空会社(自社養成課程)	エミレーツ航空
空軍	アメリカ空軍
	フランス空軍
	サウジアラビア空軍
	チリ空軍
国立パイロット養成学校	韓国交通大学校
	中国民用航空飛行学院
米国の名門訓練学校	パデュー大学
	セントルイス大学
	エアロシム・フライト・アカデミー



◆ 公式ウェブサイト

- 株式会社 Japan General Aviation Service
<http://www.jgas-aircraft.co.jp>
- CIRRUS JAPAN
<http://www.cirrusaircraft.jp>
- CIRRUS AIRCRAFT (英語)
<http://cirrusaircraft.com>

【弊社概要】

会社名 : 株式会社 Japan General Aviation Service (CIRRUS JAPAN)

本社 : 東京都港区北青山 3-6-7 青山パラシオタワー11F

代表取締役: 富永 義隆

事業形態 : 航空機使用事業 (東空振第 108 号)

事業概要 : 航空機の輸入販売事業、航空機部品の輸入販売事業、航空機の整備事業、
航空機の整備・運航に係る技術支援事業、運航乗務員養成事業、損害保険の代理業

本件に関するお問い合わせ先

シーラス・ジャパン 広報担当

TEL: 03-5643-1834 FAX: 03-5643-1836 E-MAIL: info@jgas-aircraft.co.jp